

ベトナムの高齢者の健康と介護

ブイ テー クーン
Bui The Cuong ※

要約

ベトナムでは、長期にわたる戦争の影響で、1990年代半ばから、総高齢者数に対する75歳以上の高齢者人口の割合が劇的に増加しており、また男性が女性よりも少ない、という現象が生じている。この結果、今後10年で急激な高齢化社会となることが懸念される。この10年間でベトナムは大きな社会的・経済的発展を遂げ、高齢者の生活レベルも向上したが、様々な課題が残されている。高齢者の不安調査では、経済的な問題や、病院嫌い、介護者としての子供への期待の男女差などが明らかとなった。

キーワード：高齢化社会、ベトナムの高齢者人口、高齢者の不安

報告者は、1991年からソーシャルワーカーの研究をしており、以前、東京の老人介護施設を見学したこともある。1998年からは、アメリカの研究グループの協力を得て、人口学の調査研究を始めた。その結果、以下のようなことが明らかとなった。

図1および図2は、全人口に対する60歳以上の人口の割合である。2010年まであまり変化がないが、それ以降は急速に高齢化が進むことがわかる。また、ベトナムでは60歳以上を高齢者としているが、60歳以上の高齢者のうちに占める75歳以上の人口は、大きく変動する（図2）。1990年代半ばから、総高齢者

に対する75歳以上の高齢者数が劇的に増加している事がわかる。長期にわたる戦争によって、男性の数が女性の数よりも少なく、バランスが崩れている。高齢者の女性の数は男性の数に比べて5倍になっている。研究の結果、今後10年間、高齢者社会になる準備が残されている、と国に提案をした。10年は長いようだが、環境整備や人的配備などをするには決して長くはない。今すぐに準備をするべきだと強く提案した。他の様々な先進国と違い、ベトナムの経済状態は発展途上にある。2010年の段階では、他の先進国にはまだ追いつかない状態だと思われる。国としても今後訪

図1. 2000年から2024年のベトナム人口の高齢化傾向

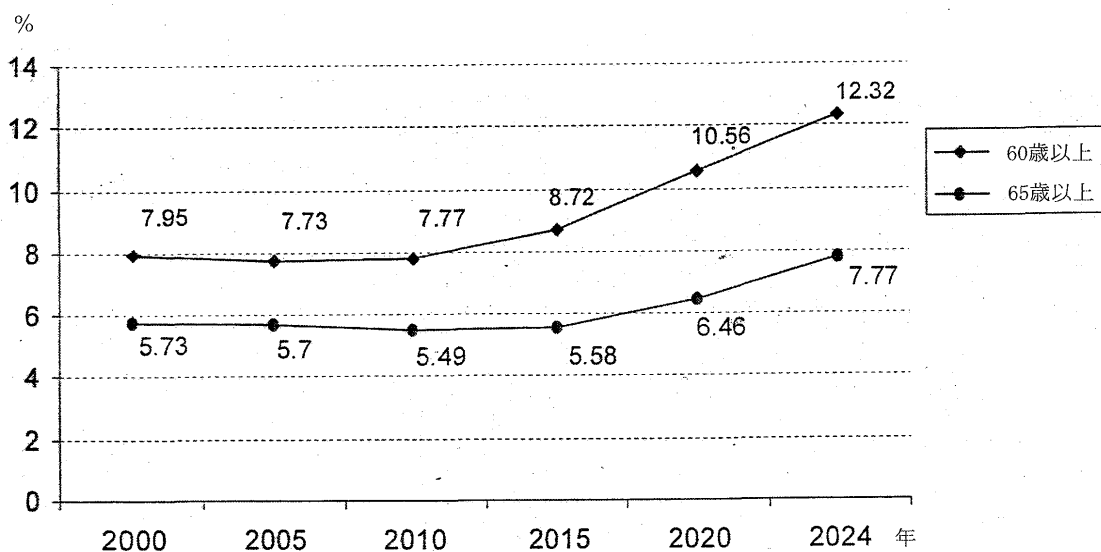
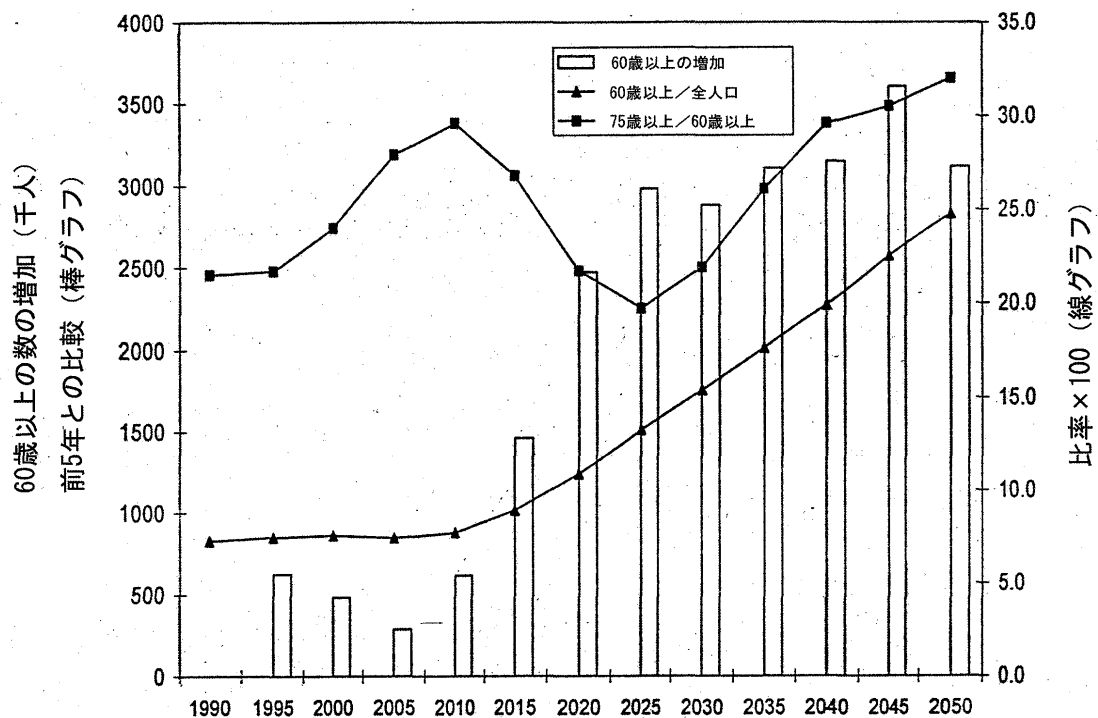


図2. ベトナムにおける60歳以上人口の増加—全人口における60歳以降の割合と、60歳以上の高齢者における75歳以上の割合—（1990～2050年までの5年ごと）



出典：Produced from International Data Base of the U.S. Census Bureau at www.census.gov.

表1. 最低一人の子供から面倒をみてもらえる高齢者の支援の内訳(1996年)(%)

	計	性別		年齢		地域			
		男性	女性	60～69	70+	農村	市町	ハノイ	
現金、大きな家具	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	なし	65.2	69.4	62.3	70.9	58.6	67.0	61.9	46.0
	時々	32.3	27.5	35.5	28.3	36.9	31.1	31.6	48.2
	いつも	2.5	3.0	2.2	0.8	4.5	1.9	6.5	5.8
食べ物、小さな家具	なし	13.6	17.0	11.2	15.7	11.2	12.9	23.6	9.8
	時々	61.6	61.6	61.6	66.3	56.2	62.8	45.8	67.1
	いつも	24.8	21.5	27.1	18.1	32.7	24.3	30.6	23.1
面倒を見る	なし	0.3	0.2	0.4	0.2	0.4	0.2	0.0	2.7
	時々	26.1	24.0	27.5	24.7	27.8	26.4	19.2	30.0
	いつも	73.6	75.8	72.1	75.0	71.8	73.4	80.0	67.4
話し相手になる	なし	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.5
	時々	13.2	11.7	14.3	12.0	14.7	13.1	9.9	19.6
	いつも	86.6	88.1	85.6	87.8	85.2	86.8	90.0	79.8
日常生活	なし	72.1	74.1	70.6	74.5	69.2	70.4	84.2	78.9
	時々	17.1	15.6	18.2	15.3	19.3	18.3	7.4	13.6
	いつも	10.8	10.3	11.2	10.2	11.6	11.3	8.4	7.5
自営業、仕事など	なし	34.2	36.1	32.9	31.9	36.8	23.8	94.2	94.7
	時々	22.4	22.6	22.3	26.3	17.9	26.0	1.7	1.2
	いつも	43.4	41.4	44.8	41.8	45.3	50.2	4.1	4.1

れるだろう高齢化社会に意識を向けるようになり、いくつかの取り組みを始めているようである。もちろん、国の努力は認めるが、まだまだ不十分である。2005年にハノイで高齢化社会に関するセミナーが行われた

が、そこでもこのデータを提示した。それから5年経ったが、それほど変化していない。再度提示する事で、さらなる高齢化社会への準備の発展を期待する。

表2. 高齢者の子供への支援の内訳(1996年)(%)

	計	性別		歳		地域			
		男性	女性	60~69	70+	農村	市町	ハノイ	
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
現金、大きな家具	なし	94.6	91.5	96.8	92.7	96.9	96.0	82.9	90.6
	時々	3.8	5.6	2.6	4.7	2.8	3.2	7.2	8.2
	いつも	1.6	2.9	0.7	2.6	0.3	0.8	9.9	1.2
食べ物、小さな家具	なし	88.1	86.3	89.3	83.6	93.4	89.9	78.5	76.3
	時々	5.8	6.6	5.2	7.7	3.6	4.9	6.5	16.2
	いつも	6.1	7.1	5.5	8.8	3.0	5.2	14.9	7.5
面倒を見ること	なし	3.9	1.9	5.5	1.7	6.9	4.1	1.6	4.1
	時々	40.8	43.6	38.7	38.7	43.6	37.9	46.6	74.5
	いつも	55.3	54.5	55.8	59.6	49.6	58.0	51.7	21.5
孫の世話をする	なし	52.5	47.7	55.4	34.5	69.5	51.5	58.3	61.8
	時々	15.9	18.0	14.7	24.9	7.5	16.2	6.7	24.2
	いつも	31.6	34.4	29.9	40.6	23.1	32.3	35.1	14.0
日常生活	なし	78.2	82.1	75.6	82.3	75.3	76.8	81.6	93.4
	時々	13.9	12.9	14.6	12.2	15.9	15.6	3.8	4.8
	いつも	7.9	5.0	9.8	5.5	10.6	7.7	14.6	1.8
自営業、仕事など	なし	91.7	36.1	91.4	90.5	93.1	90.6	98.2	98.3
	時々	4.4	22.6	3.8	5.5	3.2	5.1	0.4	1.2
	いつも	3.8	41.1	4.8	4.0	3.7	4.3	1.4	0.5

表3. 高齢者の健康及び病気の兆候(1996年)(%)

	計	性別		歳		地域			
		男性	女性	60~69	70+	農村	市町	ハノイ	
食欲がない	時々	63.5	58.0	67.3	62.1	65.4	64.9	58.2	53.4
	いつも	14.1	12.0	15.5	8.8	20.0	15.2	7.6	6.9
不眠	時々	62.2	55.1	66.9	63.9	80.3	62.8	62.0	52.5
	いつも	20.8	19.3	21.8	13.7	28.8	22.3	12.7	10.2
疲れやすい	時々	63.6	59.2	66.5	66.1	60.8	64.3	65.4	53.4
	いつも	19.4	15.3	22.1	10.2	30.2	20.8	11.5	10.3
締め付けられるように胸が痛む	時々	32.5	31.6	33.0	29.3	36.4	33.0	31.6	27.1
	いつも	4.7	2.1	6.5	2.2	7.4	4.8	3.8	5.1
息苦しい、咳、呼吸器系の不調	時々	41.6	45.0	39.2	39.2	44.4	44.6	42.3	40.7
	いつも	5.6	4.0	6.7	2.2	9.5	5.8	3.8	5.1
胃痛、消化器系の不調	時々	20.4	20.1	20.6	19.9	21.1	19.6	21.8	29.3
	いつも	9.2	10.0	8.6	8.2	10.4	9.7	6.4	6.9
頭痛	時々	59.5	56.4	61.5	56.9	62.4	59.5	60.3	57.6
	いつも	15.8	7.0	21.8	15.0	16.7	16.8	11.5	10.2
眩暈、吐き気	時々	55.9	51.2	59.0	55.7	55.9	56.9	56.4	41.4
	いつも	11.4	6.2	14.9	8.2	15.1	12.1	6.4	8.6
関節痛	時々	54.0	47.9	58.1	58.1	49.2	53.6	55.1	56.9
	いつも	22.9	12.6	29.9	16.0	30.9	24.2	17.9	12.1
認知症、集中できない	時々	62.3	59.9	63.9	56.1	69.4	65.1	50.6	40.7
	いつも	8.4	3.7	11.5	4.4	13.0	8.4	8.9	6.8
孤独感がある、心細い気持ち	時々	19.2	11.0	24.8	20.3	17.8	19.8	17.7	13.6
	いつも	4.7	1.1	7.2	2.6	7.2	5.0	2.5	3.4
不安、理由のない心配	時々	29.1	23.9	32.7	30.1	28.2	31.8	15.4	12.1
	いつも	13.9	11.3	15.6	11.4	16.7	14.1	15.4	6.9

高齢者は占領や戦争の影響で、数は少ない。1945年から1975年の間に長い戦争があり、社会の中で大きな変動を乗り越えた人たちがいる。1975年以降1990年あたりまで、アジア通貨危機が起こり、ドイモイ政策が取り入れられ、25年ほどの間にベトナム社会は大きな変化を遂げた。このわずか四半世紀の大変動を

見る通り、ベトナムの約半数の人はこうした戦争や社会の変化を経験している。この10年の間に経済発展も目覚ましく、社会的にも大きな発展を遂げた。高齢者の生活レベルも向上している。生活レベルは以前に比べると向上はしているが、ベトナムの高齢者はまだまだ様々な困難を抱えている。今後10年20年の高齢

表4. 高齢者の健康に関わる習慣及び健康についての評価(1996年)(%)

	計	性別		歳		地域			
		男性	女性	60~69	70+	農村	市町	ハノイ	
本人による健康度評価	優	10.7	18.0	5.8	12.0	9.0	9.2	16.7	22.4
	良	38.6	44.8	34.3	44.8	31.3	36.7	51.3	46.6
	可	50.5	37.3	59.4	43.2	59.0	53.8	32.1	31.0
	回答なし	0.2	0.0	0.5	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
同年齢・性別の人のとの比較	より良い	12.7	21.3	6.8	9.4	16.5	11.0	24.4	20.0
	同じぐらい	41.3	39.7	42.4	47.4	34.3	41.0	42.3	45.0
	より悪い	43.0	36.3	47.6	41.6	45.0	45.4	30.8	28.3
	言いにくい／知らない／答えがなし	3.0	2.7	3.2	1.6	4.2	2.7	2.6	6.7
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
体操、散歩、ジョギングの頻度	なし／本当に時々	86.9	76.9	93.6	87.7	85.8	90.4	69.2	61.0
	毎日	11.9	20.9	5.9	11.8	12.1	8.6	29.5	35.6
	一日何回か	1.2	2.1	0.5	0.4	2.1	1.0	1.3	2.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
スポーツをする頻度	なし／本当に時々	97.9	97.1	98.6	98.8	97.0	98.5	97.5	89.8
	1-2回/週 / 毎日	2.0	3.0	1.4	1.2	3.0	1.5	2.5	10.2
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表5. 高齢者への精神的・経済的支援者(1996年)(%)

	計	性別		歳		地域			
		男性	女性	60~69	70+	農村	市町	ハノイ	
病気のときに最も世話をしてくれる人	配偶者	43.3	71.8	24.1	59.8	24.2	41.9	50.8	52.8
	結婚した息子	29.5	18.2	37.1	19.1	41.5	31	20.3	20.8
	結婚した娘	9.2	4.3	12.4	4	15.1	8.4	12.7	15
	お嫁さん	4	0.6	6.3	1.6	6.7	4.3	2.9	0.7
	未婚の子供	4	0.7	6.1	1.6	6.7	3.9	6.1	1.8
	親戚	10.1	4.4	14	13.9	5.7	10.5	7.2	8.9
	計	100	100	100	100	100	100	100	100
	N	920	370	550	495	425	785	77	58
病気のときに主に経済的負担をする人	本人/配偶者	60.3	66.6	56.2	71.9	47.1	59.4	66.1	65.9
	結婚した息子	26.2	24.8	27.2	18	35.6	28	17	15.1
	結婚した娘	5.8	3.6	7.3	2.4	9.6	5.3	9.2	7.6
	お嫁さん	2.1	0.9	2.8	2.9	1.2	2.1	2.5	0.7
	未婚の子供	3.6	3.2	4	3.4	3.9	3.8	1.7	3.5
	親戚	1.9	0.9	2.6	1.4	2.5	1.4	3.4	7.1
	計	100	100	100	100	100	100	100	100
	N	867	346	521	462	405	739	74	54
病気のときに世話をしてくれた人	配偶者	49.5	75.3	32.1	64.4	32.2	48.1	54.9	61.1
	結婚した息子	66.8	69.3	65.2	65.2	68.7	69.5	47.4	57.3
	結婚した娘	46.9	42.4	49.9	44.3	49.9	46.8	40.1	56.9
	お嫁さん	31.7	24.8	36.3	25.5	38.8	33	22.5	25.6
	未婚の子供	15.7	10.9	19	13.9	17.9	15.3	17.2	19.2
	親戚	24.7	20.5	27.6	28.2	20.7	23.8	27.1	33.6
	N	930	374	556	499	431	793	78	59

化社会を迎えるにあたって残された課題は多い。

ご存知の通り、ベトナムはWTOに加盟し、この先10年で大きな変化を遂げるだろう。このような社会、経済、工業の発展にとってはいい面もあるが、様々な社会問題も生じるだろう。若い労働者は都市に出て仕事をし、農村では老人と子供が残され、農村の高齢化が進む。こうした生活形態の変化によって、伝統的な

価値観が若い世代に伝えられず、失われつつある。確実に家族の形態も変化してきている。ベトナム国民の生活は向上しているが、貧困者の問題は残っている。藤本先生も、ベトナムでは親の面倒を子供がみるのが当たり前、という事を書かれているが、一方で日本と同様に高齢者虐待なども起きており、必ずしも藤本先生が受けたようないい印象だけではなく、様々な現状

が残っているのも事実である。しかし、高齢者同士の助け合いも依然強く残っている。ベトナムの高齢者の多くは農村地区に暮らしている事が多く、社会的な保証を受けていない。したがって、高齢者は家族の中で生活しており、高齢者と若者の助け合いが起きているのは当然といえる。

2001年から2002年にかけて3地方で行われた調査では、高齢者の不安・心配として、健康維持のためのお金がどこにあるのか、というものがあつた。病院に行つて診察を受け処方箋をもらうが、薬を買うお金がないのでポケットに入れて帰り、病気が治るまで待っていた、という64歳のおばあさんもいた。

高齢者にとっては、自分を助けてくれるのは子供、という認識がある。経済的にも介護の面でも、世話をしてくれるのは子供であり、それ以外はなかなか受け入れられないのが現状である。また、高齢者の介護についての男子と女子の役割の違いがある、ということも分かつた。自分の世話をしてくれるのは女の子だけ、男の子は社会に出て行つてしまふ、と思われている。聞き取り調査を行つたとき、ある人は「息子は自分の子供だつた。しかし、結婚したら奥さんの子供になつ

てしまつた」と言つていた。一方で、女の子は感情豊かに生活しているが、家族で大きな決断をするときには男の子の役割が重要だ、という人もいる。あくまでも研究の過程にある事だが、介護における男女役割については、今後研究を続けていくつもりである。

また、高齢者が非常に病院を嫌っている、恐れている事も問題である。なぜ病院を嫌うのかという点、まず、高いお金がかかつてしまふからである。次に病院の医師や職員にあまりよい扱いを受けないこと。そして病院の中だけではなくベトナム社会の中で問題になっているコミュニケーションの問題がある。アメリカのグループと共同で、高齢者と若者の間のコミュニケーションについての研究も行つた。アジアにおける二世世代間のコミュニケーションは西欧よりもよいものではないか、とアメリカのグループは評価していた。しかし、実際にアメリカや日本、ベトナムなどアジア各国の二世世代間の研究の結果を見てみると、西欧諸国の高齢者の方が、若い世代とのコミュニケーションに満足している、ということが見えてきた。

他にも多くの調査結果があるのだが、それについてはまた別の機会に発表したい。

Health and Care for Vietnamese Elderly People

Bui The Cuong

Viện KHXH Vùng Nam bộ, Việt Nam

In Vietnam, the ratio of the old people over 75 years old to the gross population of the elderly has dramatically been uprising since the middle of the 1990' s. Recent statistics show that the population of men is less than that of women under the influence of the long-term war. As the result, it is feared that our country will rapidly become an aging society in a decade or so. This country has developed socially and economically in the past 10 years, and the life level of the senior people' s has been improved, but there still remain a lot of problems to be solved. Our survey on elderly people's anxiety reveals that they still have economic problems, distaste for medical treatment, and dissatisfaction with their children as their caregivers in need of help.

Key words : aging society, the elderly population in Viet-Nam, olderly people's anxiety